



氏名	宮田 航平 / MIYATA Kohei	職名	准教授	学位	修士 (文学)
所属	一般科目 / 品川キャンパス	E-mail	kmiyata(at)metro-cit.ac.jp		
シーズ キーワード	児童文学、日本文学、国語教育、出版メディア、検定教科書				

相談可能なテーマ	講座・講演会のテーマ例
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな「物語」の捉え方 ・日本児童文学とその歴史 ・国語教育の現状と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまんきみこの作品世界 (一般向け) ・国語教科書のなかの児童文学 (一般向け) ・中学生のための小論文講座 (中学生向け)

研究・教育内容の紹介

<戦後児童文学史の再検討、そして国語教育との横断的研究>

主な研究対象は、日本の児童文学です。特に近年は、児童文学作家のあまんきみこの作品や児童出版メディアなどに注目して、戦後児童文学史の再検討を行っています。またあまんの作品は、「白いぼうし」などを中心に、長年に渡り小学校国語教科書に採録されてきました。国語教育におけるあまん作品の教材化、そしてその定番化の力学にも注目して、日本児童文学と国語教育の横断的な研究についても取り組んでいます。

これらの研究成果の一部は、あまんきみこ研究会編著『あまんきみこハンドブック』(三省堂、2019年)などにも活かされました。



<高専での授業実践と検定教科書編集>

小学校国語教科書には、あまん作品以外にも多くの児童文学作品が採録されています。たとえば、新美南吉の「ごんぎつね」、椋鳩十の「大造じいさんとガン」、宮沢賢治の「やまなし」などがあります。残念ながら小学校での教員経験はありませんが、これまでの中学・高校での国語科教員の経験を活かして、現在は高専の国語科目の教員として、日々教材研究と授業実践を行っています。また公開講座では、中学生向けの小論文講座も開講しています。

2019年からは高等学校国語教科書(三省堂)の編集委員も務めており、現在までに『新言語文化』(2021年)と『新文学国語』(2022年)の2冊の検定教科書とその教師用指導書の執筆などに携わりました。



利用可能な機器/施設/スキル	所属学会/協会
<ul style="list-style-type: none"> ・児童文学に関する出版企画への助言 ・児童文学作家へのインタビュー ・国語教科書編集への助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本児童文学学会 ・全国大学国語教育学会 ・国語教育史学会 ・あまんきみこ研究会 ・宮沢賢治学会イーハトーブセンター

その他参考事項

児童文学や国語教育などを中心に、広く相談を受け付けています。
なお、研究情報の詳細は「<https://researchmap.jp/kmiyata>」をご覧ください。